

<今日の説教のポイント ルカによる福音書9章28-36節>
十字架と復活の予告の後のイエス様の変容。それが持つ大きな意味。

1 (28-29) 理解できない出来事。だからこそ、それが持つ意味が重要。

イエス様の顔が変わり、服が真っ白に輝いた。不思議極まる記事です。しかし、私たちが理解できないから無視するのは間違っています。それはイエス様が祈っておられる時に起きました。つまり、天の父なる神様が起こされた出来事なのです。よって、私たちの理解を超えた、神様の御旨をそこから聞き取ろうとしなければならない出来事なのです。

2 (30-31) 旧約聖書を指すモーセとエリヤが語ったことに注目。

モーセとエリヤは律法と預言、すなわち旧約聖書を指し示しています。すなわち、モーセとエリヤが語り、旧約聖書によってイエス様に示された神様の御旨とは何か？ それは彼らがイエス様に語ったこと、「**イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期**」(31)のこと、すなわち十字架に架かって死なれることだったのです。このルカの表現で大事なものは、イエス様が自ら進んで成し遂げられようとしているという点です。

3 (32-33) この時のペトロはまだ意味が分からなかった。

ペトロたちはイエス様の変容とモーセとエリヤの出現に驚き、それなりに理解して受け入れましたが、最も重要な点（イエス様の最大の務め、十字架の死による私たちの罪の贖い）はまだ無理解だったのです。小屋を建てるという提案はどこも悪くありません。しかし、神様のこの先の計画、イエス様の苦しみを通して成し遂げられた栄光である面が入っていません。イエス様昇天後の弟子たちはそれを理解しました。だから、イエス様の苦しみに自ら進んで連帯し、その中で福音を宣べ伝えたのです。「**自分の十字架を背負ってイエス様に従う**」(23)ことができるまで、イエス様の十字架の死を深く理解できる者になりたいと思います。

4 (34-36) 神様の救いを確信させてくれるイエス様の変容の出来事！

モーセとエリヤはイエス様と話し合い、納得して帰って行きました（雲に覆われて：使徒1:9）。その時、「**これは私の子、選ばれた者、これに聞け**」という父なる神様の声があったのです。イエス様が洗礼を受けられた時と同じです（3:22）。このイエス様の変容の出来事は大事です。イエス様が生まれて以来、取り組まれ、成し遂げられた十字架の死と復活の出来事は神様の御旨なのだ！ そう私たちが確信している、私たちの理解を超えた神様の不思議な出来事であったからです。